

図書館においてある本の中から  
おすすめのものを選びました。  
バラエティに富んだ本を紹介します。

不屈の翼

岡崎 敏 著



長年ジャンプ競技で活躍を続けている葛西選手の半生が語られています。

TAKANOSU LIBRARY  
町立 鷹巣図書館  
TEL0996-86-1111

人生のくすり箱

枅野 俊明 著



「他人と比較しない」「何ものにも縛られない」「執着心を捨てる」など禅の考え方をつづります。

SASUE LIBRARY  
町立 指江図書館  
TEL0996-88-6500

Pick Up publication

長島文芸

Nagashima Bungai  
ながしまぶんげい

明神俳句会

晩酌や酔みそで食らふ生辣蕪	淵脇 護
賑やかな「結」の田植に加はりぬ	二階堂妙子
風薫る瀬戸の大橋四十年	筑前 初市
整然と植田となりて万歩計	大堂 早苗
花好きの母の窓辺に四葩咲く	関 佳代美
とびのこを食べて田植の終りかな	山寄加代子
夏衣鴨居に掛けて旅仕度	迫口 君代
紫陽花の一花ごとに雨の色	大堂 正弘

長島短歌会

風荒ぶ夜明けの沖に巨船引く船近く見ゆ飛沫の中に	本田 幸子
地をかすめ急上昇をする燕わが住む家に仔の待つ巢あり	松元 睦子
遠き日に亡兄と一銭銅貨を磨きたる庭草引きつつ	市尾 操
亡兄に逢ひたし	岩下 ち江
夜の豪雨道路に溢れ港内も濁りて枯葉かたまり揺るる	岩下 ち江
出水灘の中の小島は何時の日も松青青と船路和ます	岩下 房代
農道の水溜まる際に燕降り土を銜へて囁うごく	梶平 頼子
うち続く広田の道に田植ならん媼は体揺らし急ぎぬ	米尾 和子

友の庭に紫淡く木蓮の花二・三輪つゆ雨弾く

坂之下典子

わが植系しグアバの小枝は重たげに青実びっしり雨降りしきる

中山タマエ

兄征きて七十年経ぬ或る日ひよつこり戻り来ぬかと待ち疲れたり

浜畑 松枝

一般作品

「短歌」

夕闇の燈籠ゆれる川辺にてママ泣いてるの間ふ声聞こゆ

平木 良雄

ゆるやかなテンポで動く体操はわが生く道も同じに思え

中仮屋辰子

年とれば仕事するのに困るなり身体動かさず仕方ないかな

町田 末則

「俳句」  
色彩の世界麗わし夏台風

宗方 清明